

かわいいと漆

日本のかわいい文化と漆

A2201528 渡部 夢華

研究の背景

日本には独自で多様な文化がある。その中で最近注目されているものに、「カワイイ」の文化がある。日本人は古くからその感性を持ち、現在でも身近なものであるが、近年では日本独自のものとして注目されている。

漆は工芸分野のひとつとして、古くからさまざまな形で親しまれてきた。現在でも、生活の中で漆を感じてもらおうと努力し続けている。そこで、カワイイ文化を調べることで、日本のかわいらしさ、日本人の感性を知り、漆と結びつけることで今後の漆の展開につながるようなデザインを考えたい。

研究の目的

漆とかawaii文化を結びつけることで、さまざまな人たちに親しまれる漆製品のデザインを提案する。

研究のプロセス

かわいいについての調査

・アンケート調査

どんなものをかわいいと思うのか？

自分の持ち物でかわいいと思うものは？

持ち物を選ぶときにかawaiiと感じる基準・キーワードは？

・インターネット・文献調査

かわいいとは何なのか？どうして可愛いと思う？

ベビースキーマ

- ▶ 人間が何かを見て「かわいい」と感じる時にある法則性
- ▶ ベビースキーマとは、一般に赤ちゃんに見られる特徴である
- ▶ 体が小さい、頭が大きい、丸い、目が大きくて離れていて顔の真ん中より下についている、強さがない

成果物・デザイン決定

制作



【 木地制作 】



【 布着せ作業中 】



【 布着せ完了 】



【 下塗り 】

(木地制作、木固め、布着せ、布目揃え、布目摺地付け、蒔地、固め、錆付け、捨て塗り、追い錆、塗り、加飾)

成果物(完成作品)

調査を元にデザインを考えた筆箱

漆粘土、色漆などを用いる

考察

枕草子の一段「うつくしきもの」(清少納言がかわいいと思うものが書かれている)から着想を得て、カワイイの文化について調査を始めた。アンケート調査では、ベビースキーマと呼ばれる「人間が何かをかわいいと思う法則性」に当てはまるものをかわいいと思うことを確認できた。その結果を元にインターネット、文献調査を行い、日本のカワイイには未成熟さという点でほかの国々とは少し異なっていることを知った。欧米社会は未成熟なものは評価に値しない、軽んじられる傾向にあるが、日本には不完全なものを美しいと思う文化があるため未成熟なものも評価されることが違いにつながっているのではないかとと思われる。

昔から現在まで身近なもので、漆で制作されることに違和感がなく、アンケート調査中の「かわいいと思う自分の持ち物は？」という問いの答えにも挙げられたため成果物は筆箱に決定した。成果物には日本らしいかわいいの要素を組み込んで制作したいと思いデザインも決定した。